

(1) バスシステム検討委員会の設置について

【目的】

高齢社会の到来や環境問題への対応から、過度に自動車に依存しない調和のとれた交通環境への社会的要請が高まっており、市民のだれもが自由に移動できる公共交通の充実・強化が求められています。

このようなことから、昨年12月に「宇都宮市都市・地域交通戦略策定協議会」を設置し、宇都宮市の将来のまちづくりを見据えた総合的な交通体系の確立に向けた検討を進めているところです。

また、将来交通ネットワークの構築を図るうえで、宇都宮地域の東西方向の基幹となる公共交通軸には、LRTの導入が望ましいと考え、各界の専門家や交通事業者の皆様からの御指導・御助言のほか、数多くの市民・県民から御意見や御提言等をいただきながら検討を進めてきました。

しかしその中には、既存のバスでの対応を望む声やバスを高度化・システム化を望む声など、バスの利便化を図ることによる対応を求める様々な御意見がありました。

このようなことから本委員会においては、将来交通ネットワーク構築に向けた東西方向の基幹となる公共交通軸をバスで担うとした場合の検討とその利便化策について、技術的かつ専門的な観点から議論・検討するため「バスシステム検討委員会」を設置するものです。

【検討組織の位置付け】

○宇都宮市都市・地域交通戦略策定協議会

宇都宮市における公共交通の現状と課題を整理したうえで、本市の目指すまちづくり実現のための将来交通ネットワークのビジョンを策定するとともに、ネットワーク構築に向けて長期的目標を見据え、短・中期の各種取り組みを含めた実行計画を策定し、国・県・市・交通管理者・道路管理者・交通事業者等がそれぞれの責任を明確にして着実に施策を展開していく仕組みを構築する。

また、実施した事業については事業評価、整備効果等を分析したうえで、計画の時点修正を行う評価・改善システム（PDCAサイクル）の導入を図る。

○新交通システム検討委員会

宇都宮市の東西軸を担う公共交通をLRTとした場合の実現性・成立性を見極めるための検討を行う。

○バスシステム検討委員会

宇都宮市の東西軸を担う公共交通をバスとした場合の施策とその利便化策について検討を行う。